

○企業版ふるさと納税事業に係る検証シート

<b>交付金対象事業の名称</b>	文化財を資源とした交流エリア形成プロジェクト	
<b>事業の概要</b>	八幡山公園グラウンドの再整備計画に伴い、老朽化した文化財施設を八幡山公園の一角に移転させ、隣接する南下古墳公園と一体的な施設活用を推進する。これにより、町内の豊富な文化財を有効活用する交流エリアを形成し、「よしおか再発見プロジェクト」と連動させながら地域資源を磨き上げ、本町の特色である古墳や養蚕などの歴史文化に関する情報発信や各種交流事業を通じて、域外からの新たな人の流れを呼び込み、交流人口や町内周遊・滞在の拡大を目指すものである。併せて、本町は移住者が多いことから、改めて住民に地域資源を認識してもらうことにより郷土愛の醸成を図り、定住を促進する。	
<b>事業経費</b>	事業費総額：57,304,800円 （事業費内訳） ・工事請負費 51,516,000円 ・設計委託料 5,788,800円	平成31（令和元）年度事業費総額：374,344円 （事業費内訳） ・印刷製本費 327,160円（パンフレット等） ・材料費 17,184円（体験教室） ・報酬 30,000円（講演会講師）
<b>平成31（令和元）年度 取組内容</b>		<b>取組結果</b>
「まがたま」作り教室 期日 令和元年8月1日（木） 時間 ①10：00～11：30 ②13：30～15：00 場所 吉岡町文化財センター 体験学習室		町内の小学生（1年生から6年生）19人参加。 まがたま作りを通して古墳時代の装飾品について学んだ。また、参加者同士の学年を超えた交流を深めることができた。
ミニ円筒埴輪づくり体験 期日 令和元年10月25日（土） 時間 9：30～11：30 場所 吉岡町文化財センター 体験学習室		町内の小学生（1年生から5年生）8人参加。 円筒埴輪づくりを体験することで、埴輪王国と呼ばれた群馬県の歴史を身近に感じ、より興味を持つことができた。
講演会「街道を歩く」 期日 令和元年11月22日（金） 時間 13：30～ 場所 吉岡町文化財センター 体験学習室 講師 元群馬県埋蔵文化財調査事業団研究部長 能登 健 先生		27名が参加。物資の輸送や人馬の往来のために整備された街道について学び、町の街道などの理解を深めた。
講演会「野田宿本陣森田家について」 期日 令和2年2月9日（日） 時間 13：30～ 場所 吉岡町文化財センター 体験学習室 講師 森田家当主・野田宿を守る会会長 森田 均 氏		54名が参加。伊香保街道の野田宿で、本陣として重要な役割を果たした森田家について学んだ。
文化財に関するパンフレット作成（増し刷り） ・吉岡町文化財マップ 1,000部（142,560円） ・三津屋古墳パンフレット 1,100部（119,800円） ・南下古墳群リーフレット 400部（64,800円）		文化財に関するパンフレットなど3種類を増し刷りした。

○企業版ふるさと納税事業に係る検証シート

重要業績評価指標	基準値	平成29年度末 目標値	平成29年度末 実績値	平成30年度末 目標値	平成30年度末 実績値	平成31（令和 元）年度末 目標値	平成31（令和 元）年度末 実績値
文化財施設利用者 数（人）		—	—	1,000	1,080	1,500	1,582
観光入込客数 （人）		—	480,400	620,000	485,400	625,000	472,908
K P I 未達成 の理由							
	新型コロナウイルスの感染症拡大により、イベントなどの実施が困難な状況だったため。						
事業の課題 /今後の取組	新型コロナウイルスの感染症拡大により、講習会やイベントなどの実施が困難な状況であるためユーチューブなどでの動画配信を通じて町の歴史・文化に親しんでもらえるよう工夫していきたい。						
	新型コロナウイルスの感染症拡大により、イベントなどの実施が困難な状況であるためユーチューブなどでの動画配信を通じて町の歴史・文化に親しんでもらえるよう工夫していきたい。						
事業の評価	③事業期間が短く、効果を把握できないため、経過観測						
外部有識者による 意見・記述欄	<p>コロナ禍における今後の取組として、動画配信が挙げられているが、配信するだけでなく、積極的に周知し、住民に配信の事実と内容の認識がなされるようにされたい。また、小・中学生の学習の一環として、吉岡町の歴史や文化を発信する取組も、郷土愛の醸成や人材育成につながると思われる。</p> <p>これまで通りに実施できる活動と新しい形で実施すべき活動について検討されたい。</p>						